

2015年度通訳案内士試験
＜第2次口述試験対策特別セミナー＞(2)資料
(2015年11月23日)

＜目 次＞

【1】＜遂次通訳試験＞に出題予想されるテーマと対策……………	1
【2】＜プレゼンテーション＞に出題予想されるテーマと対策……………	2
【3】＜プレゼンテーション試験＞の例題の回答例……………	3
【4】＜プレゼンテーション試験＞の予想問題の回答例……………	6
【5】第2次口述試験合格体験(要旨)(合格者)……………	9

ありえへんサービスを提供する
ハロー通訳アカデミー
植山源一郎

【1】<逐次通訳試験>に出題予想されるテーマと対策

【1】2013年度と2014年度に、それぞれ、6題の逐次通訳問題が出題された。

2014年度:(1)日本の祭 (2)日本の城 (3)ICカード (4)白川 (5)表音文字 (6)飲食のマナー

2013年度:(1)日本の自然 (2)秋葉原 (3)新幹線 (4)祇園祭 (5)温泉 (6)浮世絵

・11:00～の時間帯のプレゼンテーションのテーマに、「温泉について知っておくべきこと」が出題。

・10:00～の時間帯のプレゼンテーションのテーマに、「浮世絵について」が出題。

【2】過去2年間に¹出題されたテーマから類推して、2015年度に出題予想されるテーマ

<日本の〇〇>が、2013年に1題、2014年に2題、計3題出題されているが<日本の〇〇>の形で出題予想されるテーマ

- ・日本の気候 ・日本の火山 ・日本の地震 ・日本の庭 ・日本の食べ物
- ・日本の伝統芸能 ・日本の音楽 ・日本の絵画 ・日本の陶器 ・日本のスポーツ
- ・日本の宗教 ・日本の寺 ・日本の神社 ・日本の衣服 ・日本の建築物

日本の城 ⇒ 熊本城、名古屋城、姫路城、大坂城(阪ではないことに注意)

ICカード ⇒ ガラ携、スマホ

白川郷 ⇒ 飛騨高山、合掌造り

表音文字 ⇒ 漢字、ひらがな、かたかな(「300選」の116ページ)

秋葉原 ⇒ 浅草、銀座、原宿、六本木

新幹線 ⇒ リニアモーターカー、(第二)東名高速道路

温泉 ⇒ 火山、地震、南海トラフ巨大地震

浮世絵 ⇒ 美人画、文人画、山水画、障壁画

祇園祭 ⇒ 京都三大祭(時代祭、葵祭、祇園祭)

・日本三大祭(祇園祭、神田祭、天神祭)

・東北四大夏祭(仙台の七夕、青森のねぶた祭、秋田の竿燈祭、山形の花笠祭)

日本三景 ⇒ 松島(宮城県) 天橋立(京都府) 宮島(厳島)(広島県)

日本三名園 ⇒ 兼六園(石川県金沢市) 偕楽園(茨城県水戸市) 後樂園(岡山県岡山市)

【3】対策

過去2年間に¹出題されたテーマから、2015年度に出題予想されるテーマを類推してみたが、実際に出題される日本文を予想することは不可能です。

受験者としては、「大体、このようなテーマが出そうだな」と心積りしておいたらよいでしょう。

また、逐次通訳とプレゼンテーションのテーマ、内容は重なるので、逐次通訳試験対策としては、通訳メモの取り方に注力したらよいと思います。

<第2次口述試験対策特別セミナー>(1)の資料の下記項目をよく学習してください。

動画も必ずご覧ください。

【7】<逐次通訳試験>対策(11ページ)

【2】<プレゼンテーション>に出題予想されるテーマと対策

【1】2013年度と2014年度に、それぞれ、18題のテーマが出題された。

2014年度に出題されたテーマ

- ・明治維新 ・初詣 ・日本アルプス ・風鈴 ・日本の自然災害について ・古墳
- ・日本三景 ・宝くじ ・鎖国 ・厄年 ・高野山 ・日本における最大の木造建築
- ・ハッピーマンデーについて ・黒船について ・北陸新幹線について ・福袋
- ・東海道五十三次 ・草津温泉の特徴と行き方

※明治維新、鎖国、黒船について、19世紀の日本に起こった大きな変化について(2013年)の四つのテーマは、明治維新という同じ範疇に含まれる。

※2013年度出題の「新幹線について」に引き続いて、「北陸新幹線について」が出題された。

2013年度に出題されたテーマ

- ・浮世絵について ・旅館について ・東京が日本の他の地域と異なる点について
- ・温泉について知っておくべきこと ・日本の宗教について
- ・日本の季節ごと見られる草花について ・居酒屋について ・日本の伝統芸能について
- ・2011年の東日本大震災の最も被害をうけた地域とその現状について ・侍について
- ・日本でお薦めのスキー場 ・日本で年末年始に行われること ・富士山
- ・絵馬について ・19世紀の日本に起こった大きな変化について
- ・東北の魅力的なスポットについて ・江戸について ・新幹線について

※16:30～からの逐次通訳試験に、「浮世絵」が出題されている。

上記で、「日本の事象英文説明300選」に収録されているもの。()内の数字はページを示す。

- ・初詣(82) ・風鈴(106) ・古墳(8) ・日本三景(22) ・宝くじ(110) ・鎖国(12)
- ・浮世絵について(52) ・旅館について(16) ・日本の宗教について(70)
- ・居酒屋について(42) ・日本の伝統芸能(44) ・侍について(10) ・富士山(18)
- ・絵馬について(76) ・新幹線について(16)
- ・日本で年末年始に行われること
 - ・年末に行われること:忘年会、大晦日、年越しそば、除夜の鐘(95～97)
 - ・正月に行われること:正月、年賀状、初詣、新年会(81～83)

【2】対策

<第2次口述試験対策特別セミナー>(1)の資料の下記項目をよく学習してください。
動画も必ずご覧ください。

【8】<逐次通訳試験>予想問題(38題)(15ページ)(プレゼンテーション対策として重要!)

【14】「日本の事象英文説明300選」の第2次口述試験出題実績(37ページ)

【15】<プレゼンテーション試験>予想問題(230題)(39ページ)

【3】<プレゼンテーション試験>の例題の回答例

(1)京都の地理・地形・気候について

Kyoto is located in a valley part of the Yamashiro Basin in the eastern part of the mountainous region known as the Tamba highlands. The Yamashiro Basin is surrounded on three sides by mountains known as Higashiyama, Kitayama and Nishiyama, with a height just above 1,000 meters above sea level.

There are three rivers in the basin, the Ujigawa to the south, the Katsuragawa to the west, and the Kamogawa to the east.

Kyoto has a humid subtropical climate, featuring a marked seasonal variation in temperature and precipitation. Summers are hot and humid, though contrarily, winters are relatively cold with occasional snowfall. Kyoto's rain season begins around the middle of June and lasts until the end of July, yielding to a hot and sunny latter half of the summer. Kyoto, along with most of the Pacific coast and central areas of Japan, is prone to typhoons during September and October.

Since Kyoto was the capital of Japan for more than 1,000 years until 1868, it is rich in cultural assets, including 2 Imperial villas, 200 Shinto shrines, 1,500 Buddhist temples and over 60 beautiful gardens.

Many foreign tourists visit the city every year.

<訳>

京都は、丹波高原として知られる山岳地帯の東部にある山城盆地の谷部分に位置しています。

山城盆地は、海拔千メートルを少し超える高さの東山、北山、西山として知られる山々によって、三方を囲まれています。

盆地には、3 河川があり、南に宇治川、西に桂川、そして東に鴨川があります。

京都は、湿度の高い亜熱帯気候で、気温と降水量において顕著な季節的変動があります。

夏は高温多湿で、逆に、冬は時折降雪がある比較的寒い気候です。

京都の梅雨は、6 月半ばから 7 月末までですが、その後は、暑い晴れた夏の後半に移行します。

京都は、日本の太平洋沿岸地域のほとんど、そして、日本の中央地域と同様に、9 月と10 月に台風の襲来を受けます。

京都は、1868 年まで、1000 年以上に渡り日本の都だったので、御所と離宮、200 の神社、1,500 の仏教寺院や 60 以上の美しい庭園などの文化財が豊富です。

多くの外国人観光客が、毎年、京都を訪れています。

<解説>

最後一文は、おまけのようですが、実は、非常に重要です。この**最後一文**により、スピーチ全体のテーマが「**外国人観光客の訪日旅行であること**」を示すことができ、かつ、通訳案内士試験の回答として、全体をピシッとまとめる効果があります。

グリコのおまけは侮れません。(笑)

(2)日本歴史の観点より、日本の首都について。

Traditionally, the home of the Emperor was considered the capital in Japan. Nara was the capital of Japan from 710 to 784. This period was relatively short compared to the capital era of Kyoto, which lasted for over a millennium. Nevertheless, it was important because in this period Japan conducted a most active communication with East Asian nations and established political and legal systems by borrowing from the corresponding Chinese systems.

From 794 through 1868, the Emperor lived in Kyoto. After 1868, the seat of the Government of Japan and the location of the Emperor's home was Tokyo.

In 1941, the Ministry of Education published the "designation of Tokyo as capital." After World War II, the new Constitution of Japan transferred the state's sovereignty from the Emperor to the people. The people of Japan are represented by the Diet of Japan in Tokyo. Consensus considers the site of the Diet is the capital of Japan.

Since Tokyo is the political, economic and cultural center of Japan, about 60% of the foreigners coming to Japan visit Tokyo every year while only about 20% of foreigners visit Kyoto.

<訳>

日本では、伝統的に、天皇の御所が都だと考えられてきました。

奈良は、710年から784年まで日本の都でした。

奈良時代は、千年以上に渡り、京都が都だった平安時代と比べると、短かった。

しかし、奈良時代において日本は東南アジア諸国と非常に活発な外交を持ち、中国の制度に模して、日本の政治及び法制度を確立したので、奈良時代は重要です。

794年から1868年まで、天皇は京都に住んでいました。1868年以降、日本政府の所在地と天皇の御所は東京になりました。

1941年に、文部省は東京を日本の首都であると正式に発表しました。

第二次世界大戦後、新しい日本国憲法は、国家主権を天皇から国民に委譲しました。

東京の国会が日本国民を代表し、国会の所在地である東京が首都であるとの総意があります。

東京は、日本の政治、経済、文化の中心地であるので、訪日外国人の約60%が毎年訪れますが、一方、京都には、訪日外国人の約20%が訪れるに留まっています。

<解説>

最後の一文で、訪日外国人の東京と京都への訪問率を示すことにより、首都の説明とテーマである「外国人(観光客)の訪日旅行」を結びつけるようにしました。

(3)一般常識の観点より、日本の人口構造について。

As of October 2013, Japan had a population of 127.3 million, the tenth largest in the world after China, India, the United States, Indonesia, Brazil, Russia, Pakistan, Bangladesh, and Nigeria.

Japan's population peaked in 2008 at 128.08 million before starting decline.

According to estimates by the National Institute of Population at the Ministry of Health, Labour and Welfare, the population will drop to 121.13 million by 2025 and then to 100.6 million by 2050.

In the post-war boom years, Japan had a population pyramid that looked like Mt. Fuji, with a broad spread of younger generations at its base.

But the recent census shows that Japan's population has entered a long phase of decline due to a rapidly aging society and a slowing birthrate, starting to flip over into an inverted pyramid and fundamentally alter the structure of its economy.

The Realization of Japan as a Tourism-oriented Country by increasing the number of foreign visitors is very important to cope with the decreasing domestic demand resulting from the remarkable structural change of Japan's population.

<訳>

2013年10月現在の日本の人口は、1億2730万人です。この数は、中国、インド、アメリカ、インドネシア、ブラジル、ロシア、パキスタン、バングラディッシュ、ナイジェリアに次いで世界10位の数字です。

日本の人口は、2008年に1億2808万人のピークに達し、そして、減少に転じました。

厚生労働省の人口問題研究所の推計によれば、日本の人口は、2025年までに1億2113万人に、2050年までに1億60万人にまで減少します。

戦後のベビーブーム時代では、日本の人口は、幅広い若い世代を底辺とする「富士山型」のピラミッド構造をしていました。

しかし、最近の国勢調査によると、日本の人口は、急速に高齢化する社会と少子化により、長期的な減少局面に入り、「逆ピラミッド型」の人口構造に反転し、経済構造を根本的に変えつつあります。

日本の人口構造の著しい変化に起因する減少する内需に対処するために、訪日外国人の増加を図り「観光立国」を実現することは、非常に重要です。

<解説>

最後の一文で、「日本の人口構造の変化に起因する内需の減少に対処するために、観光立国政策が重要である」と述べて、「**外国人(観光客)の訪日旅行**」と結びつけるようにしました。

【4】<プレゼンテーション試験>の予想問題の回答例

予想問題(1)

(日本地理関連テーマ)

日本の地形、火山、温泉について

Japan is a country of islands located in the North Temperate Zone. It consists of four main islands with more than 7,000 smaller islands, extending about 3,000 kilometers from north to south. Japan is also a country of volcanoes. There are about 110 active volcanoes and it suffers from frequent earthquakes and volcanic activities. But this has also given Japan the many places of scenic beauty and hot spring resorts all over Japan.

Most of Japan enjoys a temperate, oceanic type of climate with four distinct seasons.

The variety of geographical features in Japan and its temperate climate make Japan a sightseeing destination from all over the world.

It is hoped that many more foreign tourists will come to Japan since Mt. Fuji was designated as a World Heritage Site in 2013.

<訳>

日本は、北温帯にある島国です。

日本は、北から南へ約 3,000 キロメートルの広がりを持ち、4 つの主要な島と、7,000 以上のより小さな島とで構成されています。

また、日本は火山国です。

日本には、約 110 の活火山があり、頻繁な地震と火山活動の被害を受けています。

しかし、これは、また、日本に、多くの景勝地と温泉をもたらしてきました。

日本のほとんどの地域は、はっきりした四季のある温暖な海洋性気候に恵まれています。

日本の多様な地理的特徴と温暖な気候は、世界中の観光客の目的地となっています。

2013 年に、富士山が世界遺産に登録されたので、多くの外国人観光客が日本に来ることが期待されています。

<解説>

火山国→景勝地、温泉

(聞かれていないが) 四季のある温暖な気候→観光に最適

と、積み上げて、世界中の観光客の目的地につなげる。

(聞かれていないが) 富士山(地形、火山関連)が世界遺産に登録されたことに触れ、多くの外国人観光客が日本に来ることが期待されています、としめる。

予想問題(2)

(日本歴史関連テーマ)

明治維新について

After Commodore Perry came to Japan, Japan opened its door to the world after 220 years of national isolation. And Japan realized the need to establish a modern state to cope with powerful Western countries. The last shogun Tokugawa Yoshinobu stepped down in 1867, and Emperor Meiji came to the throne. Thus, the Meiji Restoration took place in 1868, which included a series of drastic political, economic and cultural changes. The new government promoted industrialization and modernization, through abolishing the feudal system and introducing Western culture and political systems.

The Meiji Restoration also brought about internationalization of Japan and foreign tourists began to visit Japan.

<訳>

ペリー提督が日本に来た後、日本は、220年間の鎖国を解いて、開国しました。

そして、日本は、西洋列強に立ち向かうために、近代国家樹立の必要性を理解しました。

最後の将軍である徳川慶喜は、1867年に将軍職を辞し、明治天皇が即位しました。

このように、1868年に明治維新が起こり、一連の抜本的な政治、経済、文化的な変革がなされました。

新政府は、封建制度を廃止し、西洋の文化や政治制度を導入して、日本の工業化と近代化を促進しました。

明治維新は、また、日本の国際化をもたらし、外国人観光客が日本を訪れるようになりました

<解説>

ペリー来航(1853)→開国(日米和親条約)(1854)→大政奉還(1867)→明治維新(1868)→日本の近代化、工業化、国際化(鹿鳴館外交)→富国強兵→日清戦争(1894~95)→日露戦争(1904~05)の流れは重要。

最後の**“foreign tourists began to visit Japan.”**は、取って付けた感は否めないが、ペリーの砲艦外交が、日本のインバウンド観光(inbound tourism)の先駆けとなった事実は重要。

予想問題(3)

(一般常識関連テーマ)

日本庭園について

There are two types of gardens in Japan. One is a Japanese-style landscape garden composed of rocks, trees, ponds, and other natural objects. This type of garden is designed in accordance with the appearance of nature. The other is a dry landscape garden mainly composed of rocks and sand. The rocks represent mountains or islands, while the sand represents water. The three most famous landscape gardens are Kouraku-en in Okayama, Kenroku-en in Kanazawa and Kairaku-en in Mito. One of the most famous dry landscape gardens is the one at Ryoanji Temple in Kyoto. It is known as a Zen-style dry landscape garden in Japan. Just 15 rocks are arranged in three groupings of seven, five, and three, in waves of raked white pebbles.

It is hoped that many foreign tourists will visit and appreciate those Japanese gardens.

<訳>

日本には、二種類の庭園があります。

一つは、岩、木、池、その他の自然物から成る日本式山水庭園です。

このタイプの庭は、自然の外観に合わせて設計されます。

他のタイプの庭は、主に岩と砂から成る枯山水です。

岩は山や島々を表し、砂は水を表します。

最も有名な三つの山水庭園は、岡山の後樂園、水戸の偕樂園、金沢の兼六園です。

最も有名な枯山水の庭園の一つは、京都の龍安寺にあります。

それは、日本の禅式枯山水として知られています。

わずか 15 個の岩が、均された白い小石の波の中に、七、五、三の三つグループに分かれて配置されています。

多くの外国人観光客が、これらの日本庭園を訪問し、観賞することが期待されています。

<解説>

日本庭園→二種類の庭園がある→山水庭園、枯山水→それぞれの特徴→有名な庭園の紹介
→外国人観光客の皆さん、来てください、と続く**自然な流れ**が重要。

【5】第2次口述試験合格体験(要旨)(合格者ゲストスピーカー)

●S氏

●英語(2014年度合格)、スペイン語(2014年度合格)

<第1部>準備

《英語》植山先生の<模擬面接>(3回全て参加しました)。

《スペイン語》対策講座に通学、模擬試験を行った。

「日本の事象英文説明 300選」を何度も聞き音読。重要表現・文言を暗記、自分の言葉で表現できるように頭で整理。音声教材で訓練、練習、的を絞る試験直前は重要事項や出題されそうなトピックのみ勉強。

<第2部>(ハローの模擬面接で学んだこと)

- ・自分の弱点と残りの短い準備期間で何をすべきか、最後の最後まで諦めるべきではない
- ・他の受験生の前で行う緊張感により度胸がつく
- ・他の頑張っている受験生との交流、刺激を受け、励まされた

<第3部>実際の試験での状況

《スペイン語》

(1)試験官

- ・外国人の一人(中年男性、白人系、アルゼンチン人らしい)、日本人の一人(中年)
- ・2人とも優しく聞き取りやすいスペイン語で話してくれる、雰囲気も悪くない

(2)試験の概要

・11時~TKP品川カンファレンスセンターにて、小さな個室(六畳程度?)、次になると廊下で待たされる、中の声は少し聞こえるがきちんとは聞き取れない。入室後、名前受験番号、どこから来たかを答えるとそれ以上雑談もなくすぐ試験開始。

(3)逐次通訳

日本の城の天守閣は戦闘用の砦であった。その構内には家臣がすみ、城の豪華さ美しさは権力の象徴であった。

(4)プレゼンテーション

①風鈴②古墳③自然災害、が提示され③を選択、日本の自然災害、東北の震災、地震が多い国柄、国民もある程度地震に慣れており日本国内の建物は耐震性が高いことなどについて説明、のちに、御嶽山などについての質疑応答

《英語》

(1)試験官

外国人(中高年男性、白人系)、日本人(中高年男性、大学教授のような雰囲気)

(2)試験の概要

15時半~昭和女子大学、中くらいの教室、この教室にたどり着くまで多人数で歩いて移動

(3)逐次通訳

かたかな、ひらがなは表音文字である。それは2~3世紀に中国から伝わった漢字を崩したりその一部を用いたものである。

(4)プレゼンテーション

①黒船②北陸新幹線③ハッピーマンデーが提示され①を選択、ペリー来航と開国、友好条約締結、大政奉還、明治維新について説明、のち当時の状況等について質疑応答

<第4部>現況

9月から登録し開始。旅行会社6社から声がかかり、空港送迎、FIT、クルーズ船寄港地ツアーなどをやらせて頂く。英語とスペイン語、半々ぐらい。

- 松井佳代子氏
- 英語(2013年度不合格、2014年度合格)

<第1部>準備

2013年に第1次筆記試験には合格したが、第2次口述試験で不合格だった。最も大きな敗因は第1次筆記試験で「語学免除」だったこと。2014年は「300選」を繰り返し聞き、シャドーイングをできるときにはやっていた。他にNHKワールドやNHKラジオ第2の英語プログラムで使える言い回しを勉強した。フラッシュカード、模擬面接、直前対策講座、スーパー高校生のプレゼンテーションなどハローからの情報を参考にしながら学習に取り入れた。

<第2部>(ハローの模擬面接で学んだこと)

模擬面接を受けて、2013年の面接内容は「紹介する内容がマイナーすぎた」こと、「丸暗記したことの影響がでなかった」こと、「ユーモアが足りなかったこと」が判明した。面接の内容だけでなく、教材についてのアドバイスもいただき、迎賓館からの帰路、その教材を入手しつつ帰宅した。

<第3部>実際の試験での状況

(1)試験官

日本人1名、ネイティブ1名。2013年は試験時間が遅かったので、ネイティブの試験官が疲れている様子がわかった。2014年は朝早い時間だったので試験官も元気で、スムーズにやり取りすることができた。

(2)試験の概要

2013年は試験形式変更の初年度だったが、「日本語から外国語への逐次通訳」と「3つの課題から1つを選んでプレゼンする」形式は2014年も変わらず。2013年は受付番号を外国語で聞かれて焦ったが、2014年は氏名のみの確認だった。

(3)逐次通訳

2013年、2014年とも形式は同じ。日本人が読み上げる文章についてメモをとりながら聞き、その後、外国語で表現する。白いA4の紙と鉛筆が面接席のすぐ脇に用意されていた。

(4)プレゼンテーション

2013年、2014年とも形式は同じ。3つの題から1つを選んで外国語で表現する。まずは、「300選」で学習した内容を話したが、それだけでは時間が余ってしまうので、「さらに」「ところで」などの接続詞をつかって、自分の話しやすい分野へと話題を持っていった。プレゼンの後、ネイティブから質問をされるが、あまり難しい質問はなく、得意分野で話せばよいと感じた。

<第4部>現況

通訳案内士の仕事をすぐスタートさせたかたのですが、諸事情により、現在は市議会議員として活動しています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックを前に、各地方自治体とも「おもてなし」で沸き立っていますが、市民が主体となって足元から国際交流ができる仕組みを構築したいと日々努力しております。

- 平本真衣子氏
- フランス語(2014年度合格)

<第1部>準備

1次試験が終わってすぐに(結果発表前)「300選」のお題をワードに全部書き出した。各お題の回答として、「300選」の内容をそのまま使えると思えばフランス語に翻訳。難しい場合はフランス語の wikipedia から引用したり、自分で考えたりして用意。とにかく試験日まで用意した回答を一日中丸暗記し続けた。

<第2部>(ハローの模擬面接で学んだこと)

300ものお題の回答を用意する時間が無く、模擬面接にはより重要と思われる120題を選んで臨んだ。三つのお題から一つ選んでプレゼンをするという練習を2回していただいたが、1回は全くカバーしていないお題が三つ載っていて自分の準備の甘さを実感した。また、1分半から2分という時間感覚が身につけていない事も指摘され、試験本番まで時間についても訓練するべきだと学んだ。

<第3部>実際の試験状況

(1)試験官

女性二名(フランス人と日本人)。フランス人女性はにこやかで大変優しそうで、緊張が解けた。

(2)試験の概要

日本人試験官が問題文を読み上げ、私が逐次通訳を行った。また日本人試験官からプレゼンテーションのお題を渡された。私のプレゼンテーションについて、フランス人試験官から一つだけ質問をされ、フランス語で答えた。

(3)逐次通訳

当時会議通訳の道も考えて、通訳養成学校に通っていたため、逐次通訳には慣れていて楽に感じた。

(4)プレゼンテーション

「明治維新」、「初詣」、「日本アルプス」から一番得意な「明治維新」を一も二もなく選んだ。内容はしっかり自分の言いたいことを全部言えたが、多分2分は超えてしまっていたと思う。

<第4部>現況

複数のエージェントに通訳案内士として登録し、ツアーがあるとエージェントから仕事の打診が来る。ツアー内容からお客様にご案内する話を準備し、ツアーに臨む。

- 坂勝美氏
- 中国語(2014年度合格)

＜第1部＞準備

- ・＜第2次口述試験対策セミナー＞での懇切丁寧なアドバイスと受験生の熱気でマインドセット
- ・「逐次通訳」と「プレゼンテーション」を網羅する「300選」を活用しない手はない！
- ・英語以外の方は残念ですが、自作しましょう
- ・予想問題を参考にテーマの絞り込み
- ・記憶力は目・耳・口のフル活用でカバー
- ・原稿は体験等を盛り込み自分仕様にバージョンアップ

＜第2部＞(ハローの模擬面接で学んだこと)

- ・模擬面接は英語以外でも大丈夫
- ・第三者の目で弱点を知りすぐに改善

＜第3部＞実際の試験状況

(1)試験官

- ・中国人女性と日本人男性(大学教員?)

(2)試験の概要

- ・試験会場は品川駅前のオフィスビル
- ・トイレ対策
- ・待ち時間の過ごし方
- ・「聞き耳」の成果のほど
- ・第一印象を大事に

(3)逐次通訳

- ・メモの取り方

(4)プレゼンテーション

- ・質疑応答対策

＜第4部＞現況

- ・今年を受験外国語英語で受験中。(第1次試験免除で、第2次試験受験予定)